

# 平成29年度 第2回学校関係者評価の結果

※評価欄は、学校評議員の方々に 4 できている、 3 だいたいできている、 2 あまりできていない、 1 できていない の4段階で評価していただきました。

領域	評価観点	評価項目	評価	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
学校運営	連携・協働の動	家庭、地域との連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりが進んだか。 (授業公開・学校だより・学級通信・ホームページ・地域行事への参加など)	3.5									
	教人育権	児童一人一人を大切にしている教育活動を実践しているか。	3.5									
	環教境育	学びやすい教室や整備された校地校舎等、教育の場にふさわしい学校の環境が整っているか。	3.5									
	管安理全	児童が安全で安心して登下校し、生活できる安全管理や指導の徹底ができているか。	3.3									
教育活動	確かな学力	基礎・基本の定着を図る指導を充実させているか。	3.5									
		児童が「分かった」「できた」「もっとやりたい」と思える授業づくりができているか。	3.3									
	豊かな心	不登校の未然防止やいじめの早期発見・解消の取組ができているか。(日常の声かけ、教育相談、家庭訪問など)	3.3									
		地域のよさを生かした体験活動の推進が図られているか。	3.3									
	健身体かな	体力の向上を図る取り組みができているか	3.3									
		基本的な生活習慣や望ましい生活マナーが身に付いているか。	2.8									

## <主なお気づき・ご意見等>

○前期の学校評価アンケートでは、同じ評価項目において、保護者の評価と児童の評価で大きく違っていた項目があったが、今回の学校評価アンケートの結果では大きな差が無くなっていた。保護者が子どもの状況をよく把握されるようになったと感じる。  
 ○子どもの学習習慣の育成や基礎学力の定着については、保護者の協力がとても重要だと感じる。鉛筆や筆箱等の学習用具等は、保護者は子ども任せにせず、学校からの「学習のきまり」を守っているか、見守り、励ましていくことが必要だと思う。  
 ○平山バイパスの開通や新しい宿交差の開通で通学路の安全確保が気になったが、学校は直ぐに保護者や地域の方々と協力して対応し、安全な通学路に変更したので安心した。今後も、保護者や地域と連携して、児童の安全確保をお願いしたい。